

# 微量元素について

NSTimes 2013年1月号

微量元素って、  
何ですか？



- 生体内に 1mg/kg 体重以下、または鉄を基準としてそれよりも少ないもの。
- 組織中濃度が ppm ( $\mu\text{g/g}$ ) オーダーより低いもの
- 1日必要量が 100mg より少ないものとされています。



微量元素は、生体内で酵素や生理活性物質の活性中心として重要な働きをしています。

そのため、その欠乏、過剰により多彩な障害が出現することがあります。

微量元素の一日必要量は、年齢、性別または患者さん個々の疾患や状態別に異なります。

次に、主な微量元素の欠乏症状、過剰症状および当院での検査報告日数の表を示します。

	不足	過剰	報告日数
銅 (Cu)	貧血、骨異常、成長障害	言語障害、ふるえ、吐き気	1-2
ヨウ素 (I)	甲状腺腫、甲状腺肥大	甲状腺中毒症	検査中止
* セレン (Se)	克山病 (心筋症の一種)、皮膚乾燥	毛髪や爪の脆弱化	5-10
* クロム (Cr)	血糖値の上昇、視力障害		6-12
亜鉛 (Zn)	味覚障害、成長障害、食欲不振	貧血、嘔吐、腹痛	2-3
マンガン (Mn)	成長異常、平衡感覚異常	過敏症、発疹	6-11
* モリブデン (Mo)	頻脈、頭痛 (クローン病患者) ※ エレンタールには含まれない。		海外依頼
* コバルト (Co)	ビタミン B12 欠乏	甲状腺肥大	海外依頼

\* は保険適応外項目

経腸栄養剤に含まれる微量元素は、製剤によって大きく異なり必要十分量の微量元素が含まれていないものがあります。

長期的に TPN で栄養管理をしている患者さんや、単一の栄養剤で長期経腸栄養中の患者さんに対して、上記症状や検査データをモニタリングすることは重要です。そして必要に応じて微量元素補給剤の投与が望まれます。



本年も NST をよろしく願っています。